

町民文芸

短歌

大型の連休と言ふに我が子らは

誰も帰らず妻としづかに

北野津 宮本 末秋

買ひ物の母に連れらる幼な児の

真球のやふな瞳に会ひぬ

吉 本 高橋 澄子

新築の家より通うりハビリの

妻を見送る夫の姿

西野津 古崎スエノ

着た着まま寝りし夜を思い出す

時立ちとても心継ぎて

南鹿野 尾崎 京子

共謀罪改憲論議あるけれど

八十過ぎれば諦念噛みしむ

西上宮 村内 一誠

くずれゆく

黄色のバラの今朝の陽に

光を浴ぶ香をのこし
西野津 古崎 栄子

生身なる情に深く息つけば
朝日輝く桃源の郷
桜ヶ丘 宮崎 敬四郎

今ならば100歳越えた父と友
言葉飛び出す甲種合格
上鹿島 前村 俊子

梅雨晴れ間
眠くなりそな昼夜下がり
町 香山 セツ子

やはらかな
ティッシュに枇杷を子に送る
西上宮 村内 一誠

余生なお平和の証百蓮華
桜ヶ丘 宮崎 敬四郎

枇杷熟れてもけば至福の香りかな
桜ヶ丘 吉田 照子

万緑に囲まれ和む老いの侍
町 田中 澄子

余命いくばく
無常の初夏に涙する

桜ヶ丘 宮崎トシ子

文化講演会での予定テーマーは『歴史秘話ヒストリア』『輝き』吉行理恵。彼女については、数年前の投稿で、吉行捜査事件のあらましを記載しましたのでご記憶がお有りかと思います。

講演の主役は理恵、詩人・芥川賞作家、兄・淳之介、姉・和子、母、あぐり、皆さんご存知の方ばかり。登場者は、夏目雅子 映画「瀬戸内少年野球団」、原作、阿久悠。この頃の夏目雅子は輝いていました。もう一人は瀬戸内○○、○の中はなにでしよう。そう寂聴。坊主頭がチャーミングな女性(によしよう)、であり源氏物語現代語翻訳作家です。

三人の女性の名が出ましたが、その繋がりは「夏目」と「寂聴」

は瀬戸内がらみで風貌の対比、寂聴の頭部も輝いています。そう三人の接点は『輝き』です。

私より一つ上の理恵は六十六歳

で死去。その死亡記事の顔写真に戸惑い、さすがに輝いていませんでした。小説家の風貌はチャーミングではなかつたのです。

逃がしたタイの十年前を想い起してメモアール。

「青年の髪 数知れず 微かなる

帆柱の振るえつ 夏来る 理恵」

折々の memoire (後編)

法道寺 本田 花風

投稿いただきます作品は、短歌。俳句それぞれ一句とします。必要な場合は、ルビを付けてください。

また、確認のためお電話することもありますので、連絡先の記入をお願いします。

父の日や佛間にかざる感謝状

町 香山 菊童子

俳句

雪ぶとん跳ねのけて起つ岳樺

北野津 宮本 末秋

効能を信じ十薬煎じけり

吉 本 高橋 澄子

紫陽花を活けて

カーテンゆらりゆら

西野津 古崎スエノ

里の山雨が洗うか光る夏

上鹿島 前村 俊子

梅仕込み化粧整え始まりて

南鹿野 尾崎 京子

夏の日一氣にかかる庭の色

西野津 古崎 栄子

投稿いただきます作品は、短歌。俳句それぞれ一句とします。必要な場合は、ルビを付けてください。

また、確認のためお電話すること

もありますので、連絡先の記入をお願いします。

父の日や佛間にかざる感謝状

町 香山 菊童子

梅雨晴れ間
眠くなりそな昼夜下がり
町 香山 セツ子

「青年の髪 数知れず 微かなる

帆柱の振るえつ 夏来る 理恵」

梅雨晴れ間
眠くなりそな昼夜下がり
町 香山 セツ子

立神峡だより

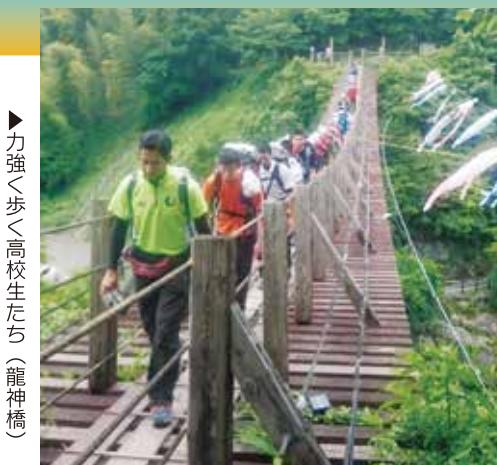
立神峡を拠点に登山競技大会開催

6月1日から3日までの3日間、立神峡里地公園を拠点として熊本県高校体育連盟の登山競技大会が開催され、選手と役員を合わせて91人がログハウス、ロッジ、里地屋敷、キャンプサイトで宿泊をされました。

高校生たちは宿泊所でも元気よく意欲的に行動しており、大会では竜峰山・鞍ヶ峰・八丁山・八峰山などの山々を踏破し、1年間の練習の成果を遺憾なく発揮していました。大会の結果は、男子は熊本高校、女子は人吉高校が優勝を飾りました。

当公園では、最近、高校生の合宿や他県からの練習試合のための宿泊も増えており、今までとは異なる客層に期待しています。

見事女子の部で優勝を飾った人吉高校▶



▶力強く歩く高校生たち（龍神橋）



夏本番に向け着々と準備



▲夏に猛威を振るうスズメバチを駆除



▲カブトムシのサナギ(左)と幼虫(右)

立神峡里地公園にはログハウス3棟、ロッジ2棟、キャンプサイト13区画と里地屋敷がありますが、すでにインターネットによる予約や、電話予約などで夏休み期間の宿泊の空き状況も少なくなっています。

梅雨明けには、ブイ・救命浮き輪の設置、救護体制の整備、落石防止対策、スズメバチの駆除、草刈り、交通指導員の調整、看板の設置などに万全を期すため、スタッフとともに着々と準備を進めております。その一つとして、オオスズメバチの女王蜂の駆除を始めました。すでに約40数匹を捕獲しており、一匹で約500から1000個の卵を産むといわれている女王蜂をその前に駆除することで、観光客の安心と安全につながります。

また、竹林を整備した際に作った大量のチップを利用して約500匹のカブトムシの幼虫を現在飼育しています。これは夏休みに施設を利用される子供たちにプレゼントする予定にしていますのでお楽しみに。

【お問い合わせ先】立神峡公園管理棟

☎ 62-1543 FAX62-1546 (8:30~17:30 火曜定休日)

ホームページアドレス

<http://tategami-camp.com>